

## 県内大学の動向

長野県内の大学がここ数年で大きく変わっています。4月に県短大が四年制化され長野県立大学が開学し、私立の諏訪東京理科大学も公立化されました。また、2019年4月には、長野市内に2大学で看護学部の開設が予定されています。

進路選択の幅が広がりますが、学校説明会に積極的に参加し情報収集をしましょう。これから、進路ニュースでも情報を発信していきます。

近年の県内大学の動き

2017年4月	長野大学 私立から公立化
	松本大学 教育学部学校教育学科 開設
2018年4月	長野県立大学 開学
	諏訪東京理科大学 私立から公立化
2019年4月	長野保健医療大学 看護学部看護学科 開設予定
	清泉女学院大学 看護学部看護学科 開設予定

## あなたは答えられますか？

県内のある大学の入学前授業で出された課題です。

「認知症で徘徊をしてしまう家族がいます。介護をする人は困っています。この家族が骨折し歩けなくなりました。あなたの家族がそういう状況になったときあなたは、リハビリを行い歩けるようにしてもらえますか？それともリハビリをせず寝たきりになるのを望みますか？」

さあ、あなたはすぐに自分の考えを述べることができますか。

授業では、入学予定者が集まった中で、何人かは挙手をしてそれぞれの考えを述べたそうです。本校の先輩は、考えがまとまらず意見を言えなかったそうです。「認知症」や「徘徊」という言葉は知っていても、すぐには答えられないと思います。「もし、家族に認知症の人がいたら」「徘徊のたびに探していたら」「家族の気持ちは？」「患者本人の気持ちは？」「どちらが幸せ？」など様々な角度から考えることが必要です。正解は一つではありません。これからはそういう問題へ挑戦することも求められます。普段から、いろいろなニュースや出来事に触れ、問題意識を持って考えることが大事です。「なぜ？」「どうして？」「わけは？」「だから？」「どういうこと？」「どうしたい？」「どうする？」と考えてみましょう。

## 2年生でコミュニケーション講座が行われました

4月12日に2年生の各クラスで、第3回コミュニケーション講座が行われました。今回は「考えるコツを学ぶ」の巻というテーマでした。

わかりやすく伝えるためには、論理的に話をし、論理的な文章を書くことが必要です。「論」は考え、「理」はワケ。自分の考えを述べるときに、なぜそう思うのかワケを説明すると、相手にきちんと伝えることができます。

上の認知症の問も同じですよ。自分の考えに、そう考えるワケを付け加えると、論理的に話すことができますよね。

